

平成27年3月2日

国土交通省中部地方整備局

名古屋港湾事務所

平成26年度「手づくり郷土賞」(国土交通大臣表彰)について
～「中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の再生)」～
の認定証授与式を開催します!

平成26年度「手づくり郷土賞」について、当事務所管内から一般部門を受賞した(一社)中川運河キャナルアートの取り組みに対する認定証授与式を下記の通り開催します。

《一般部門》

中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の再生)(愛知県名古屋市)

【認定証授与式】

日時 : 平成27年3月5日(木) 10:00～

場所 : 国土交通省 中部地方整備局 丸の内庁舎

「手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰です。平成26年度で29回目の開催となります。

<参考>

全国の選定結果は、国土交通本省「手づくり郷土賞」ホームページをご参照下さい。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/index.html>

1. 添付資料 : **資料1** 認定証授与式の概要(名古屋市)

『中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出)』

資料2 平成26年度手づくり郷土賞(概要)

2. 配布先 : 名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、
海事プレス

3. 問合せ先 : 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 課長 板生 考司
直通TEL : 052-651-6763

平成26年度「手づくり郷土賞」

認定証授与式の概要(名古屋市)

- 開催日時 : 平成27年3月5日(木) 10:00～
- 開催場所 : 国土交通省中部地方整備局 丸の内庁舎
名古屋市中区丸の内二丁目1番36号
- 受賞案件名 : 『中川運河水辺再生への挑戦(魅力ある水辺空間の創出)』
- 受賞者 : 一般社団法人 中川運河チャンネルアート
- 出席予定者 : 一般社団法人 中川運河チャンネルアート 理事長
名古屋市副市長
名古屋港管理組合副管理者
中部地方整備局長
中部地方整備副局長
名古屋港湾事務所長
- 式次第 :
 1. 開式
 2. 主催者挨拶
 3. 選定結果報告
 4. 認定証並び記念品授与
 5. 受賞者挨拶
 6. 活動発表
 7. 閉式
 8. 記念撮影

■取り組みの概要:

水運物流の中心として栄えた中川運河を再生するために、運河周辺の水辺空間を活用したアートイベントを年に2～4日間開催。また、平成22年から近隣住民との協力による運河周辺の清掃活動(年に2回)や運河沿いにコスモスの植栽を行うコスモスプロジェクトを実施し、中川運河の魅力創出に向け継続的な取組を行っています。さらに小中学校でのアートワークショップの開催により、次世代を担う学生たちに豊かな感性を育む取組を継続的に発展させています。地元主体で水辺の空間を取り戻す活動の先駆的存在となっています。



平成26年度 手づくり郷土賞

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫

(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)

②地域活動における創意・工夫、取組の独創性

(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)

③地域づくりへの成果及び波及効果

(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)

④今後の活動の継続性・発展性

(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)

⑤他の参考となるような先進性・先導性

⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

⑦社会資本の地域への定着状況

(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)

⑧活動の継続状況

(規模を広げながら着実に継続している等)

⑨活動の発展状況

(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

委員長： 齋藤 潮	東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表・まちづくりプランナー
佐々木 葉	早稲田大学創造理工学部 教授
鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
関 幸子	株式会社ローカルファースト 代表取締役
田中 里沙	株式会社宣伝会議 取締役副社長 兼 編集室長
森反 章夫	東京経済大学現代法学部 教授
瀧口 敬二	国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>)